

2024年度 後期公開講座（オンライン）申込書

I. 受講課目（□に印をつけてください）

- | | | |
|---|--------------------------------|--------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 月曜 「牧会カウンセリング」 | <input type="checkbox"/> ライブ通信 | <input type="checkbox"/> ビデオ通信 |
| <input type="checkbox"/> 火曜 「共に生きる生活」 | <input type="checkbox"/> ライブ通信 | <input type="checkbox"/> ビデオ通信 |
| <input type="checkbox"/> 金曜 「バプテスト史」 | <input type="checkbox"/> ライブ通信 | <input type="checkbox"/> ビデオ通信 |
| <input type="checkbox"/> 一般課目： | <input type="checkbox"/> ライブ通信 | <input type="checkbox"/> ビデオ通信 |

※一般課目は「後援会受講」のみ申し込みできます。
 ※ライブ通信はzoom経験者のみ受付します。 / 部分受講は受付できません。

II. 所属（□に印をつけてください）※複数回答ナシ（①～③のいずれかに印を付けてください）

- | | | | |
|---------------------------------|-----------------------------------|----------------------------------|-------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> ①後援会受講 | <input type="checkbox"/> ②入会・更新希望 | <input type="checkbox"/> ③入会済み | <input type="checkbox"/> ④オンライン月々支援 |
| <input type="checkbox"/> ⑤一般受講者 | <input type="checkbox"/> ⑥単位不要 | <input type="checkbox"/> ⑦単位取得希望 | （※詳細は事務局までご相談ください。） |
| <input type="checkbox"/> ⑧在學生 | <input type="checkbox"/> ⑨所属学科： | | |

III. 申し込み者

（ふりがな）
 氏名： _____

郵便番号： 〒 _____ 住所： _____

電話番号： _____ 所属教会： _____

Eメールアドレス： _____

◆教会共同受講（通信事務費免除、原則2名以上から受付）

※お申込みの際は神学校ホームページから配布する共同受講用の申込書（Excel）をご利用ください。
 ※締切日を過ぎてからの申し込みは受付できませんので、個人受講でお申し込みください。

参加費（1講座につき）

- 一般受講：受講料 30,000 円
- 在學生：受講料 25,000 円
*通信受講は+5,000円の通信事務費が必要です。
- 後援会受講：受講料 17,500 円
（通信事務費含む、但し単位取得はできません）
*後援会会員になるためには「年会費 5,000 円」が必要です。
*後援会年会費は献金日から1年間有効で、「払込金受領書」を領収書とさせていただきます。

教会共同受講・参加費（1講座につき）

- 受講料 15,000円 + 後援会年会費 5,000円
*教会共同受講は原則2名以上です（通信事務費免除）。
受講は公開講座に限ります。



詳細は
 神学校ホームページにて
 ご確認ください。

tbts.jp 検索

< 教会共同受講 > 申込締切日 2024年9月24日（火）

< 個人受講 > 申込締切日 2024年9月30日（月）

お問合せ
 月・火・木・金
 15時～21時

〒112-0012 東京都文京区大塚1-1-18 東京バプテスト神学校事務局
 ● TEL.03-3947-5141 ● FAX.03-3947-5145 ● E-mail seminary@tbts.jp



東京バプテスト神学校 2024年度

「後期公開講座」のご案内

月曜

牧会カウンセリング： みんなの相互牧会

講師
 今給黎眞弓・杉山いずみ
 （豊中バプテスト教会）（徳島キリスト教会）

「牧会カウンセリング」にどのようなイメージをされ、何を期待されるでしょうか。牧師はカウンセラーでも精神科医でもありません。魂のケアを委託されていますが、同時に自身がケアを必要とする者でもあります。また、バプテスト教会における「牧会」についてご一緒に考えていきたいと思います。講師や参加者のそれぞれの体験や学びから、「ひとりひとりが大切にされる教会」を探っていきます。授業はふたりの講師で担当します。参加型の授業にしますので、受講される方々にも素朴な質問や意見を出していただき、一緒に考

えていきたいと思えます。授業の中で登場するそれぞれの物語に関しては、ご本人の許可なく他の場面で話したりすることのないようお願いいたします。テキストは特にありませんが、適宜、参考図書を紹介していきます。ご一緒に学ぶ中で新たな気づきや生きなおしができることを楽しみにしています。



毎週月曜日 18:30~20:30	学習テーマ及び内容	担当講師	
1	10月 7日	自己紹介、オリエンテーション「牧会カウンセリング」とは	杉山、今給黎
2	10月 21日	バプテスト教会における牧師のはたらき	今給黎
3	10月 28日	「家族」のかたち	杉山
4	11月 11日	自分を大切にする：セルフケアについて	今給黎
5	11月 18日	教会での性暴力を防ぐ	杉山
6	11月 26日	平たい関係作りのために	今給黎
7	12月 2日	外国籍の人たちと歩む教会	杉山
8	12月 9日	多様性を喜ぶ	今給黎
9	12月 16日	障がいのある人々、家族との伴走	杉山
10	1月 6日	聖書は人間をどうみるか	今給黎
11	1月 20日	病床訪問	杉山
12	1月 27日	教会をみつめなおす：大切ないのち、大切なわたしたち	今給黎
13	2月 3日	都会の教会、地方の教会	杉山
14	2月 10日	牧会カウンセリングまとめ	杉山
15	2月 17日	新しい気づきの中から	今給黎

後援会受講であれば、公開講座以外の一般課目も半額で受講できます（但し、単位取得なし）。
 詳細は神学校ホームページよりご確認ください。

【月】 みんなの説教（講師：永松博） 【火】 組織神学Ⅱ（講師：朴思郁） 【木】 新約聖書神学概論（講師：平野健治）
 【木】 ヘブル語を学ぼうⅡ（講師：城倉啓） 【金】 教会音楽概論（講師：江原美歌子・小松澤恵）

火曜

「共に生きる生活」

— 共に読み、語り合うボンヘッファーとバルトの言葉 —

講師 小海 基

(日本基督教団荻窪教会)

今年2024年は、ドイツ告白教会闘争の出発点となったバルト起草の「バルメン宣言」が出されて90年という年です。今回共に読んでいく2冊はこうした闘いの中で生まれた書物です。戦後の教会再建に貢献した名著を共に味わいましょう。『共に生きる生活』は告白教会のフィンケンヴァルデ牧師研修所で生まれた書物です。ボンヘッファーはその所長として活躍しましたが、やがて研修所は閉鎖され、ヒトラー暗殺計画に彼は参加したことで強制収容所で絞首刑に処せられることになります。この研修所出身の牧師たちは前線に送られ、たくさんの犠牲者が出ることとなりますが、その生き残りの牧師た

ちが敗戦後、東西分断という困難を乗り越えてドイツのプロテスタント教会の復興を担うことになります。『教義学要綱』はヒトラー宣誓拒否をしたバルトがスイスへ国外追放にされたその現場であったボン大学、瓦礫の山のその場所に戦争終結直後に戻って行なった使徒信条の名講義です。教室には神学部学生以外の人たちも集まり、バルト自身も生涯忘れることの出来ない講義になったといえます。この講義の参加者たちも敗戦後のドイツのプロテスタント教会再建に大きく寄与します。



毎週火曜日 18:30~20:30	学習テーマ及び内容
1	10月 8日 「バルメン宣言」90年：ドイツ教会闘争と告白教会
2	10月 15日 「バルメン宣言」90年：ボンヘッファーとバルト
3	10月 22日 共に生きる生活：交わり
4	10月 29日 共に生きる生活：他者と共なる日
5	11月 5日 共に生きる生活：ひとりである日
6	11月 12日 共に生きる生活：奉仕
7	11月 19日 共に生きる生活：罪の告白と聖晩餐
8	11月 26日 共に生きる生活：ボンヘッファーの生き方をふりかえる
9	12月 3日 教義学要綱：課題。信仰とは信頼、認識、告白
10	12月 10日 教義学要綱：高きにいまし、父なる神。全能の、天地の、創造者なる神
11	1月 7日 教義学要綱：イエス・キリスト。クリスマスから受難まで
12	1月 14日 教義学要綱：復活から再臨まで
13	1月 21日 教義学要綱：聖霊、教会
14	1月 28日 教義学要綱：罪の赦し、身体のみがえり、永遠の生命
15	2月 4日 『共に生きる生活』、『教義学要綱』最後のまとめ

テキスト

ディートリヒ・ボンヘッファー著 森野善右衛門訳『共に生きる生活』(新教出版社)
カール・バルト著 宮田光雄訳『教義学要綱』(新教出版社)

お知らせ

- オープンウィーク：10月7日(月)～10月12日(土)
- 【休講日・祝日】 ● 冬期休講：12月17日(火)～2026年1月3日(金)
- 祝日 10月14日(月)、11月4日(月)、11月23日(土)、1月13日(月)、2月24日(月)

金曜

教会史Ⅱ：バプテスト史

講師 大西 晴樹

(仙台バプテスト教会)

この講義では、16世紀から17世紀までの初期イギリスのバプテスト教会史を学ぶ。宗教改革からバプテストが生まれ、2つのイギリスの市民革命をへて、信教の自由の下、バプテストが教会基盤を固めて発展していく時代である。講師は長年大学の経済学部で西洋経済史を講じてきたが、この時期のバプテストについて研究書を2冊刊行してきた。

『イギリス革命のセクト運動』(御茶の水書房)と『海洋貿易とイギリス革命』(法政大学出版局)がそれである。仙台在住なので、授業はすべてオンラインを利用、テキストは事前にパワーポイントで配布する。テキストの解説後、休憩をとり、それぞれの学びや経験に基づく討論を交えながらオンライン授業を進めていきたい。



毎週金曜日 18:30~20:30	学習テーマ及び内容
1	10月 11日 私たちはなぜバプテストなのか?
2	10月 18日 信仰告白からみるバプテスト
3	10月 25日 教会史からみるバプテスト宗教改革
4	11月 8日 宗教改革
5	11月 15日 イギリス宗教改革
6	11月 22日 再洗礼派とバプテスト
7	11月 29日 ピューリタン革命とバプテスト
8	12月 13日 名誉革命とバプテスト
9	1月 10日 アソシエーション
10	1月 17日 アソシエーションによる発展
11	1月 24日 事例研究 ウィリアム・キッフィン(1)
12	1月 31日 事例研究 ウィリアム・キッフィン(2)
13	2月 7日 事例研究 ウィリアム・キッフィン(3)
14	2月 14日 信教の自由：民主主義、資本主義
15	2月 21日 全体を通じての分かち合い

テキスト

【テキスト】パワーポイントで事前配布
【参考書】大西晴樹著『イギリス革命のセクト運動』(御茶の水書房)
大西晴樹『海洋貿易とイギリス革命』(法政大学出版局)



後援会の会費が **月々500円から** ご支援いただけるようになりました。

ホームページの「後援会月々支援」のページで、クレジットカードを使ってご支援いただけます。スマホやタブレットからもお手続きができますので、ぜひ皆様のお祈りとご支援をお待ちしています。

◀ **今すぐアクセス!** <https://tbts.jp/online-shien/> (後援会月々支援ページ)